

# 佛心

二〇一九年四月号

浄土真宗 本願寺派

トロント本願寺



## 喜の心と信心

おはようございます。今日はベトナム生まれの禅僧である釈一行（テイク・ナット・ハン）が唱えた瞑想から始めたいと思います。息を吸い、気持ちを静め、息を吐き、笑みを思い浮かべることを7回繰り返しましょう。

ここで臉を半分ほど閉じ、あなたの目の近くに焦点を合わせてください。そして仏陀のように軽く微笑めば顔の筋肉がほぐれてくるでしょう。さて、どんな感じでしょうか？ 少しは気持ちよくなりましたか？ あなたは毎日、常に穏やかで透き通った精神を持つことが出来ますか？ おそらくそうではないでしょう。これについてはこの話の後の方で、改めて掘り下げてみましょう。

まず最初に、ジョアン・ユアサ先生と同じく、得度された開教使助手であるドクター・ジェフ・ウィルソンの言葉に立ち返りましょう。ドクター・ウィルソンは「喜の心」（ムディタ）、すなわち仏教徒の修行の一つである「他人の喜びに共感する心」を養うことの意義を説明されました。同時に、他人を助ける行為は自分の功德を積むことであり、かつして自分の功德を損ねるものではないと話されています。他人を助けることは、例えば苦学生のための「ダークナ奨学金」への寄付、あるいは道端で立ち往生するドライバーへの手助けや、スーパーマーケットで気ぜわしく働くレジの人に掛ける優しい言葉等の、日々の中で他の人に対する親切な行いです。皆さん誰もが、このような喜の心を養う能力を持ち合わせています。喜の心の実践は、正信偈第十八節の最後の二行でも強調されています。

得至蓮華藏世界（とくしれんげぞうせかい）  
即証真如法性身（そくしょうしんによほつしょうじん）  
遊煩惱林現神通（ゆうぼんのうりんげんじんずう）  
入生死園示応化（にゆうしようじおんじおうげ）

その意味するところは「蓮華藏世界に至ることを得れば、すなわち真如法性の身を証せしむと。煩惱の林に遊んで神通を現じ、生死の園に入りて応化を示すといへり」

分かりますか？ 阿弥陀仏の浄土に往生すれば、ただちに真如をさとした実となり、さらに迷いの世界に還り、神通力をあらわして自在に衆生を救うことができる。（聖典解説シリーズ5 正信偈P214～P215より）

さて親鸞聖人は信心をどのように説いているのでしょうか？

「弥陀の尊号となえつつ 信樂まことにうるひとは 億念の心つねにして 仏恩報ずるおもいあり」（註釈版805 正像末和讃より）これを意識しますと阿弥陀仏の尊い名号をくり返し称えて（名号のいわれを信じ、念仏申す）真実の信心を身に得ている人は、本願を信ずる（憶（おも）う）心がとぎれず仏恩を報謝する思いが続くという意味です。

以上が意味するところをご理解出来るでしょうか？ 私たち浄土真宗門徒も、弥陀の名号を唱えることによる真実の信心をとおして悟りを求める仏教徒です。この悟りとは現生で得られるものではなく、浄土に往生した後に得られる阿弥陀如来の他力によるものであります。

信心に関し、ある日トロント仏教会の友人が「信心を實踐するメンバーなど誰も知らないが、あなたは知ってますか？」と聞いてきたことがあります。それに対する返答として、2013年に参加した浄土真宗通信講座で書いたエッセイについて述べてみたいと思います。「以前に書いたエッセイの中で、夜中に

目覚めたとき、あるいは日中にしばしば行う信心がなぜ長続きしないのかについて論じています。これは完全に委ねることができないという自分の心の葛藤の一部起因すると考えており、親鸞聖人は「思うことと声を出すことは同じ意味である」と知りなさい」と書かれています。声を出すことは思い無くしてはあり得ず、思うことも声を出すことと別ではありません。親鸞聖人はこの分けることが出来ない信心と念仏について、信心は念仏を伴うものであり、同時に念仏も信心する者と共にあると示されています。」

念仏を唱える時、その温もりと多大な喜びは目を見張るものですが、でも長続きしません。2013年に私の師であるリュウ・フルモト先生は手紙の中で次のように述べています「あなたの喜びが長続きしないのは問題ではなく、それはごく普通のことです。我々は常に笑みを絶やさないうような聖人ではなく、時には怒り、イラつき、悲しみ、そして落ち込むものであると浄土真宗は教えています。」

親鸞聖人は「一念多念文意」の中で「『凡夫』というは、無明煩惱われらが身にみちみちて、欲もおおく、いかり、はらだち、そねみ、ねたむころおおくひまなくして、臨終の一念にいたるまで、ととばらず、きえず、たえず、水火二河のたとえにあらわれたり。」(註釈版p.93)と述べられたように、ご自身は信心をいただいたものの、煩惱を消し去ることを出来ない多くの執着に囚われた普通の人間であることを自覚されています。それゆえ阿弥陀仏は聖人ご自身を救うために本願をお立てになりました。もし私たちが怒ることなく常に喜ぶことが出来るなら、私たちは執着心に囚われた愚かなものではなく、な

ります。

それが意味するのは私たちはこの世ですでに仏になつてゐるか、あるいは一度死を迎え、浄土に生まれ還つたのどちらかでしょう。浄土真宗は死後、浄土に生まれ変わるまで悟りに達しないと説いています。したがって時おりの喜びはごく普通のことであり、悪いことではありません。さらに私たちの喜びと信心を表すものとして、信心は水脈のようなものと比喻され、私たちの心は井戸に喩えられます。水脈を流れる水は留まることはないものの、汲み上げる井戸水は断続的なものです。同じように信心とは阿弥陀仏の心であり、それは常に喜びに満たされているものの、私たちの心に常に現れるものではなく、時として現れるものです。

でもほんとに「時として」でしょうか？ いえ、私の法友たちは時としてではなく、しばしば信心を実践しています。私たちがどこかで誰かの心こもった行動を見る時、深い感動を覚え手を合わせ合掌し、そして弥陀の名号を唱えることがあります。それはまさしく信心そのものです。

それゆえ信心を実践している誰かを知ってるかとの質問をした法友に対しては、「はい、私たちはみな信心を実践しています」と答えます。

一緒に合掌をお願いします。

南無阿弥陀仏

デニス間所

## 花祭り

花祭りとは・・・

お釈迦さまの誕生をお祝いする行事のことです。お釈迦さまは、紀元前7世紀から紀元前5世紀ごろにインド北部のルンビニ園（現ネパール）で誕生しました。そのルンビニ園は、たくさんの花で囲まれていたそうです。そのためお釈迦様の誕生日には、たくさんのお花を供えるようになり「花祭り」と呼ばれるようになりました。トロント仏教会でも日本寺院と同じように、お釈迦さまの立像に甘茶をかけて合掌をさせていただきます。子ども会も10時半からありますので、是非お子さんのいらっしゃる方もお越し下さい。

場所：トロント仏教会 1011 Sheppard Ave West M3H 2T7

日時：4月21日（第3日曜日）11時から＊子ども会は10時半からです。





# 浄土真宗 トロント本願寺

## 2019年 会員申込書

この申請用紙で二名まで同時に申し込めます。

申請人1 継続 ( ) 新規 ( ) Mr. ( ) Mrs. ( ) Ms. ( )

氏: \_\_\_\_\_ 生年月日: 日/月/西暦: \_\_\_\_\_

名: \_\_\_\_\_ メールアドレス: \_\_\_\_\_

住所: \_\_\_\_\_ 電話番号: \_\_\_\_\_

市: \_\_\_\_\_ 署名: \_\_\_\_\_

州: \_\_\_\_\_ 郵便番号: \_\_\_\_\_

申請人は2019年の会員費として \$ \_\_\_\_\_ を支払うことに同意し、その支払いとして \$ \_\_\_\_\_ を同封します。未納の前年度会費がある場合は2019年5月31日までに支払います。本申込書の署名により、上記の内容に相違ないことを誓います。

仏心の郵送を希望します。 \_\_\_\_\_ 英語版のみ \_\_\_\_\_ 英語日本語版両方 \_\_\_\_\_

申請人2 継続 ( ) 新規 ( ) Mr. ( ) Mrs. ( ) Ms. ( )

氏: \_\_\_\_\_ 生年月日: 日/月/西暦: \_\_\_\_\_

名: \_\_\_\_\_ メールアドレス: \_\_\_\_\_

住所: \_\_\_\_\_ 電話番号: \_\_\_\_\_

市: \_\_\_\_\_ 署名: \_\_\_\_\_

州: \_\_\_\_\_ 郵便番号: \_\_\_\_\_

申請人は2019年の会員費として \$ \_\_\_\_\_ を支払うことに同意し、その支払いとして \$ \_\_\_\_\_ を同封します。未納の前年度会費がある場合は2019年5月31日までに支払います。本申込書の署名により、上記の内容に相違ないことを誓います。

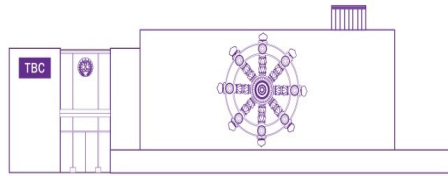
仏心の郵送を希望します。 \_\_\_\_\_ 英語版のみ \_\_\_\_\_ 英語日本語版両方 \_\_\_\_\_

この申請は、2019年1月1日から2019年12月31日までの会員権のためのものです。2019年の会員費は、最低額として130ドルとしますが、それ以上の額をお納めくださることを歓迎しております。その行為に対して当寺院は深く感謝いたします。

納入された会員費の総額に対して、領収書が発行されます。

会員費の内80ドルは浄土真宗カナダ教団 (JSBTC) に支払われます。

会費は、一括、月ごと、または四半期ごとに分割して支払うことができます。会費の支払いにお布施用の封筒を使用しないでください。「会員費として」と明記された無地の封筒に入れてお支払いください。小切手はトロント本願寺にお渡しください。



会員登録  
新規／更新

オンライン登録  
新規／更新

## 会員登録のお願い

2018年が過ぎ、また2019年度会員登録のお願いの季節になりました。2018年度の会員登録数は対前年比若干減少しましたが、再度増加基調を目指したいと考えます。現在、まだ会員登録をされていない方がおられますが、言うまでもなくトロント仏教会の未来は会員の皆様のサポートに依存しており、ここに今年度の会員登録と会費のお支払いをお願いするものです。

トロント仏教会は常に会員特典の向上をめざしておりますが、ここにいくつかの特典を列記します。

1. トロント仏教会の運営に関する投票権の取得、例えば総代表および各会リーダーの選出、予算の決裁その他トロント仏教会の将来に関する重要な事項等。
2. “the Jodo Shinshu values of the Temple” の定期購読
3. 現行会員による無料公証業務
4. CAA Premium-level の割引
5. トロント仏教会特別行事への参加費用の免除あるいは一部減免
6. Arbour Alliancesの葬儀代割引

**一般会員**とは各年1月1日から12月31日まで有効ですが、トロント仏教会の会員として活動するにあたり、年初において速やかな会員登録をお願いします。会員登録と会費（\$130）の受理後、会員カードを送付します。

**名誉会員**とは77歳以上の方で、2019年度会員登録をされた方、あるいはすでに名誉会員であり毎年名誉会員の継続を表明された方に会員カードを送付します。名誉会員は年会費が免除されますが、ご志納はありがたく拝受させていただきます。